

授業と評価の年間計画

教科	理数	科目	理数数学特論	
使用教科書(発行所)	改訂版数学B(数研出版)			
履修条件 対象生徒	必修 理数科 2年			
学習目標	平面ベクトル、空間ベクトルについて理解を深め、基礎的な知識と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を身に付ける。			
学習方法	<p>【授業、家庭、補習・その他】</p> <p>1 授業を大切に！ 先生の説明をよく聞き、理解すること。板書を写すだけでなく、説明の中で大切な点を必ず書き込んでおく。授業を聞いてまず「分かる」状態になるように、真剣に授業を受けることが第一である。</p> <p>2 宿題を自分で解く！ 授業を受けて「分かった」状態から「できる」状態に自分を高め、その日に習った公式や解法を覚えることが、宿題の目的である。「できる」状態になるために「宿題」に時間をかけて取り組むことは必須である。</p> <p>3 テストを活用！ テストに出題される問題は、「最重要問題」である。また、理解が不十分なところがはっきり分かるのがテストである。訂正することによって、「分からなかった」問題を「理解」しよう。</p>			
学習計画 と ねらい	2学期 第1章 平面上のベクトル 平面上のベクトルとその演算 ベクトルと平面図形 第2章 空間のベクトル	<ul style="list-style-type: none"> <li>平面図形におけるベクトルについての基本的な概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。</li> <li>空間図形におけるベクトルについての基本的な概念を理解し、図形の性質や関係をベクトルを用いて表現し、いろいろな事象の考察に活用できるようにする。</li> </ul>		
	3学期 行列とその応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>行列についての加法や乗法などの演算を定義して成り立つ法則について調べ、行列の概念とその基本的な性質について理解させるとともに、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばす。さらに多元的なものを一つにまとめて考察したり、連立一次方程式を解いたり、点の移動を考察したりすることに行列を活用できるようにする。</li> </ul>		
評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
	学習する内容に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。	思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
評価方法	定期考査、課題テスト、授業態度、課題・提出物を総合的に判断して評価する。			
その他				